

# 南相馬市の現状と課題

## 1. 生産年齢人口の拡大

震災前と比較し、生産年齢人口が約1.3万人減少し、市内事業所の労働力不足が深刻な状態

## 2. 旧避難指示区域の再生

平成28年7月12日の避難指示解除以降も生活環境整備に取り組んでおり、住民の帰還により賑わいを取り戻しつつあるが、空き家空き地対策、草刈など土地の維持管理が課題

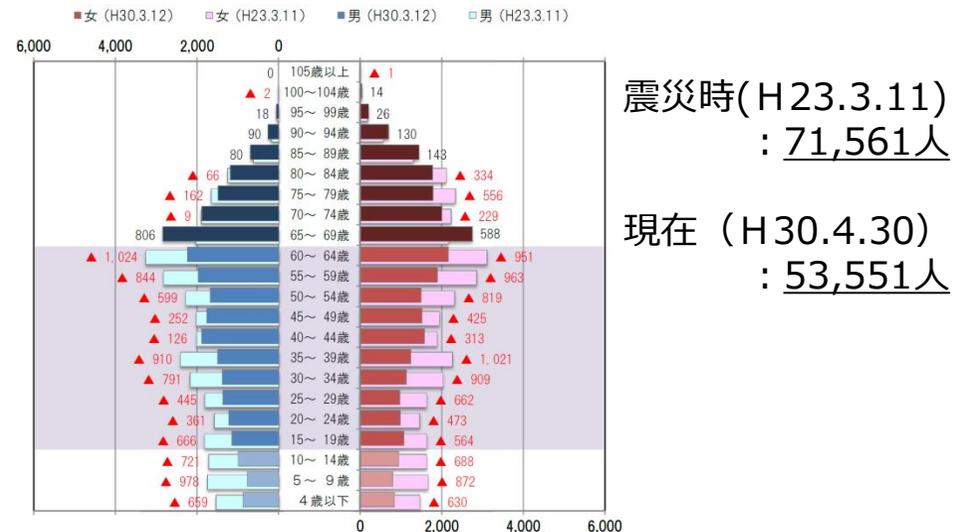
## 3. 市民ニーズへの適切な対応

中心市街地活性化、医療スタッフの確保強化、災害に強いまちづくり、教育環境の整備などの市民ニーズへの的確な対応

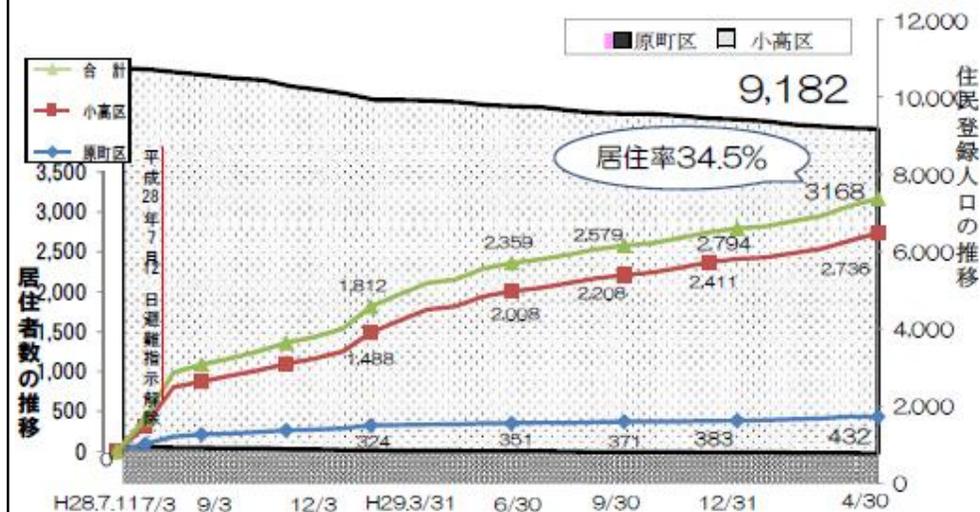
## 4. 産業再生の加速化

農業振興、「ロボットのまち南相馬」の定着など復興から発展へ進むため産業再生の推進

### 市内居住人口震災時と現在の比較



### 旧避難指示区域内人口



# 復興に向けた取り組み

## 復興のさらなる推進

- ・全国植樹祭等の場を活用した、復興状況の積極的な発信
- ・「ロボットのまち南相馬」の定着化
- ・人材確保策の推進  
(看護師、介護士、保育士等の確保)



## 旧避難指示区域の再生

- ・買い物ができる環境の確保  
(商業施設の開店に向けた準備)
- ・「小高復興アクション・プラン」の推進



## 生産年齢人口の拡大

- ・魅力的な就労の場の確保  
(地場産業の支援、企業誘致等)
- ・生き抜く力の育成 (知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成)
- ・妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築



## 100年のまちづくり

- ・旧避難指示区域外の被災市民支援
- ・若者等世帯の定住促進
- ・復興総合計画の後期計画策定  
→平成31年度から4か年の総合計画を策定



# 復興に向けたその他の課題

住民登録人口 2018/4/30現在	市内居住人口			市外居住人口
		旧避難指示区域内	旧避難指示区域外	
60,036人	53,551人	3,168人	50,383人	6,485人

## ■ 旧避難指示区域等の農業再生・農地集積への継続的な支援について

- 平成30年度水稲作付目標面積2,500 h a（平成22年度水稲作付面積5,030 h a の約50%）
- 平成30年度までの農地集積・集約化対策事業について、避難指示解除から一定期間継続するとともに、原子力災害により避難指示等が出された地域への機構集積協力金の加算措置を引き続き講じることが必要。

## ■ 地域医療・福祉の充実と人材確保について

→ 特に、**医師・看護師・薬剤師・介護士・保育士等の人材確保**支援が必要

区分	震災前	H29.2	H30.3	対前年
病院施設数	8	6	6	同じ
病床数	1,329	599	609	+10床
診療所 施設数	39	32	31	-1施設

区分《人口10万対》	震災前	H29.3	H30.3	対前年
医師	87.91	79.8	73.55	-6ポイント
看護師	532	351.3	362.16	+10ポイント
区分	H28.3	H29.3	H30.3	対前年
待機児童数	97人	106人	132人	+16人

## ■ 南相馬市小高区への小高スマートインターチェンジ設置及び常磐自動車道4車線化について

- 市民の帰還促進、企業誘致の推進及び交流人口の拡大を通じた復興の加速化並びに緊急時の避難路確保等を通じた地域住民の安全確保を図ることが必要。
- 復興・再生事業の伸展、中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送及び東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業の進捗等に伴い、今後さらに工事車両等の交通量の激増が懸念されることから、交通渋滞緩和等の対策を講じることが必要。

## ■ 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送について

- 中間貯蔵施設への全ての除去土壌等の輸送を目指し、輸送に係る全体スケジュールを早期に明示することが必要。